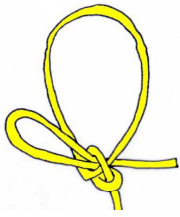


～もやい結び～

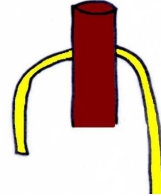


牛の繫留等によく使うもやい結びを紹介します。

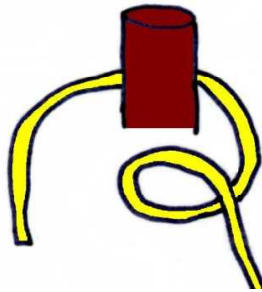
この結び方は、強くひっぱても固結びにならず、解きたい時は簡単にほどけるので、牛舎作業には重宝する結び方です。

もやい結びの方法

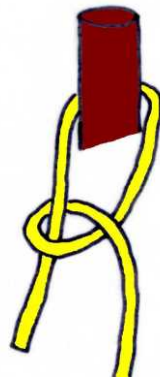
①ロープを結びたい場所にかける。



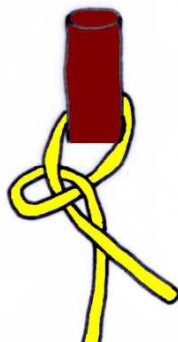
②長いロープ側に小さな輪を作る。(ポイント：巻き終わりが上になる)



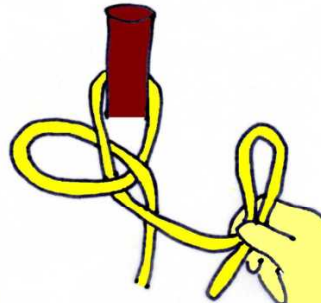
③短いロープを輪の下から上に通す。



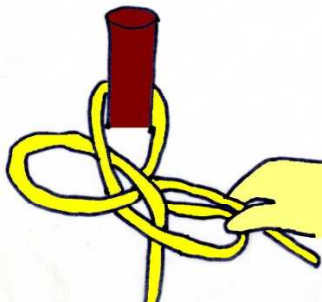
④通した短いロープを長いロープの上をまたぎ右側に交叉させる。



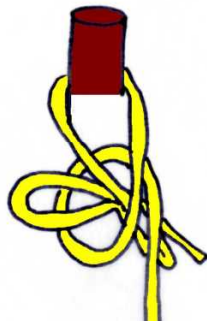
⑤小さい輪を左手に持ち、短いロープを二つに折り右手に持つ。



⑥折ったロープを輪の下から入れる。



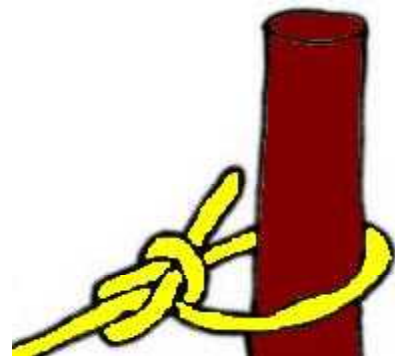
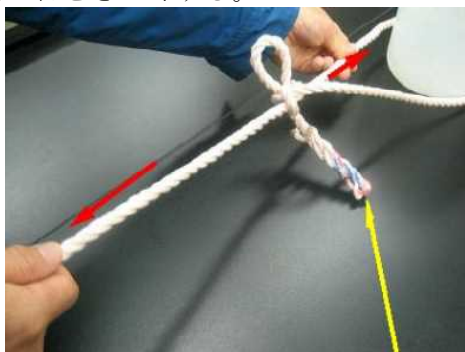
⑦半分通して、



⑧輪の左側ロープと長いロープを持って、



⑨グイッと引っ張る。通した輪が抜けない様に持ちながら、赤い矢印の方向に引っ張り、結び目をきつくする。

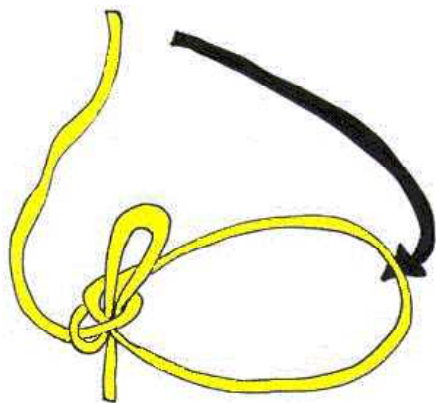


黄色い矢印で指したロープを引っ張ると簡単にほどける。

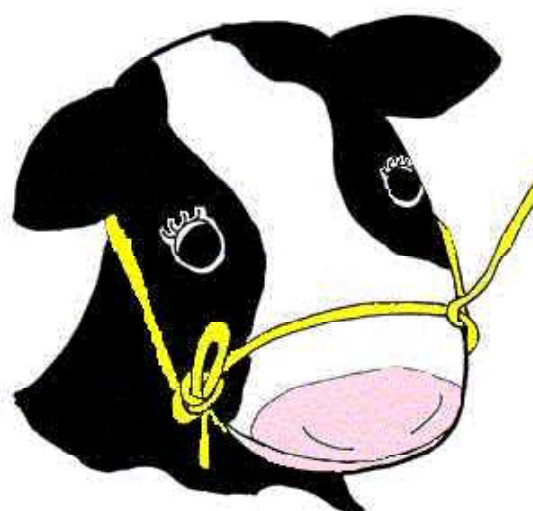
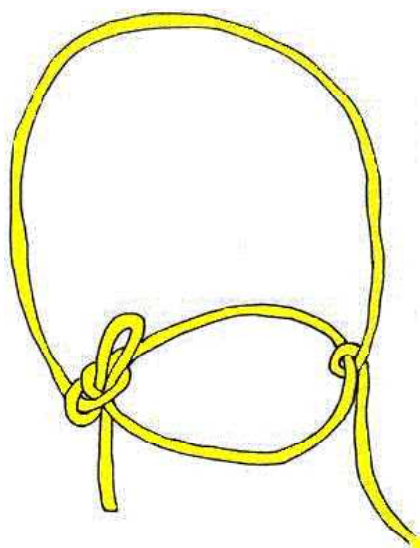
応用 もやい結びで作るもくし

おとなしい子牛には、もやい結びで作った輪を利用してもくしにすることもできます。

(1) 牛の鼻面が入る程度の大きさで、もやい結びで輪を作る。



(2) 長い紐を(1)で作った輪の結び目の反対側に巻き付ける



(3) もやい結びで作った輪に牛の鼻面を入れ、巻き付けて作った輪を牛の耳に掛けて使用する。